

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名：太陽エネルギー化学研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		多くの外部資金を獲得してプロジェクト研究を遂行し、太陽光により水と窒素ガスからアンモニアを合成する世界最高効率の光触媒を開発するなどの成果を挙げたこと、また太陽光エネルギー利用に関する科学技術と社会技術の推進に向け、他機関と連携して太陽エネルギー利用科学協議会を設立したことが高く評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		パナソニック株式会社協働研究所との連携等により、複数の共同研究および受託研究を行い、次世代二次電池や電子移動触媒に関する成果を挙げたことが評価できる。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		シンガポール・南洋理工大学ならびに韓国・プサン国利大学との新たな共同研究を開始して、短期留学生の受入れ／送り出しを行ったこと、また太陽エネルギー利用材料に関する日韓の国際シンポジウムを主催したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2：「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人あたりの科学研究費補助金応募件数について、意欲的に取り組んでいることが評価できる。 また、常勤教員一人あたりの科学研究費補助金獲得件数・金額について、前年度実績から低下したものの、獲得のための積極的な応募が一定の成果に結び付いていることが認められる。</p>
